

ソプラノ 藤井 玲南
Rena Fujii, soprano
本山 乃弘 ピアノ
Norihiko Motoyama, piano



X



Duo Recital

デュオ・リサイタル

Program

言葉に音色が寄り添う時…

フォーレ：バラ Op.51-4, 月の光 Op.46-2
リディア Op.4-2, ネル Op.18-1
ドビュッシー：ボードレールの5つの詩

山中 千佳子：室生犀星の詩による新作歌曲集（委嘱初演）
ビゼー：歌劇『カルメン』より “何も恐れるものはない”
グノー：歌劇『ロメオとジュリエット』より

“私は夢に生きたい”

2018 **5/27** (13:30 開場) アルカスSASEBO中ホール
(日) 14:00 開演 佐世保市三浦町 2-3 (JR・MR 佐世保駅より徒歩 5分)

入場料 (税込) [全席自由] 一般 4,000 円 (前売り 3,500 円) / 25 歳以下 1,500 円 (前売り 1,000 円)
ペア 6,000 円 (前売り・当日共通) / トリオ 9,000 円 (前売り・当日共通)

チケット取り扱い：アルカス SASEBO チケットカウンター / e+(イープラス) <http://eplus.jp>

2月15日 発売 絃洋会楽器店 (長崎) 0120-21-2250 / アート・ミュージック (佐賀) 0952-31-2273

※託児室のご利用をご希望の方は5月25日(金)までにお電話にてお申込みください。0956-28-4453 (佐世保市民管弦楽団事務局・蓮田)
お問い合わせ：本山乃弘公式ウェブサイト <http://norihikomotoyama.com> / 090-4355-1815 (本山) / norihikomotoyama@gmail.com

主催：Co.Musicale 協力：佐世保市民管弦楽団 / 株式会社 絃洋会楽器店 / アート・ミュージック(有) / Pia-Con & PIARA 九州事務局
後援：一般社団法人 日本ピアノ調律師協会九州支部 / 長崎県音楽連盟 / 佐世保市音楽協会 / アマトゥール・ド・ピアノ / 河合楽器
長崎新聞社 / テレビ佐世保 / 株式会社 ハンナ (月刊ショパン) / 一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会 (ピティナ)
東京藝術大学音楽学部同声会 / 東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校響親会

藤井 玲南 X 本山 乃弘
ソプラノ X ピアノ

Duo Recital

デュオ・リサイタル

言葉に音色が寄り添う時…

佐世保出身のピアニスト本山乃弘の自主企画によるコンサートシリーズ第2回。今回は、長年共演を続けるソプラノの藤井玲南を迎え、思い入れの深いフランスの歌曲とオペラアリアに加えて、二人と縁深く音楽的に大きな共感を抱く作曲家山中千佳子の新曲の初演をお届けします。フランス語と日本語の響きと歌声に、“化ける楽器” ピアノが寄り添い、共に描き出す世界をどうぞお楽しみください。

Rena Fujii, soprano 藤井 玲南, ソプラノ

横浜市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。卒業時に同声会賞受賞。同大学院在学中、ドイツのエアフルト歌劇場 総支配人から招待を受け、同劇場研究生として所属。同劇場でフンパーディンク『ヘンゼルとグレーテル』“砂の精・露の精” 役でオペラデビュー、リーダーアートを開催。翌年にはライブツィヒ歌劇場にて研鑽を積む。その後ウィーン国立音楽大学リート・オトリオ科を卒業。以降スロヴァキアの Mikulaš Schneider-Trnavský 国際声楽コンクール第1位。チェコの Antonín Dvořák 国際声楽コンクール オペラ部門第1位、歌曲部門第3位。ポーランドの Ada Sari 国際声楽コンクール第3位、特別賞三部門受賞。オーストリア Hans Gabor Belvedere 国際声楽コンクール Olga Warla-Kolo 賞受賞。在欧中、モーツァルト『魔笛』“夜の女王”、ロッシニ『セヴィリアの理髪師』“ロジーナ”、ヴェルディ『リゴレット』“ジルダ” を演じる。コンサートでは 室内オーケストラ カペッラ・イストロポリターナ、ポーランド国立放送交響楽団などと共演。国内では 第23回友愛ドイツ歌曲コンクール第1位ならびにR、シュトラウス賞、第18回日仏声楽コンクール第1位、第83回日本音楽コンクール第2位および岩谷賞（聴衆賞）受賞、第7回静岡国際オペラコンクール入選（ファイナリスト）。札幌のパシフィック・ミュージック・フェスティバル、セイジ・オザワ松本フェスティバル、小澤征爾音楽塾に出演。二期会オペラ『ばらの騎士』“帽子売り” 役で出演。現在 国立音楽大学非常勤講師。二期会会員。公式ウェブサイト <https://rfmsmusic.wixsite.com/rena-fujii-soprano>

Norihiro Motoyama, piano 本山 乃弘, ピアノ

1983年長崎県五島福江生まれ、佐世保出身。1997年第51回全日本学生音楽コンクール福岡大会中学校の部第2位。1998年第4回フッペル鳥栖ピアノコンクール中学生部門第1位及びグランプリ。2003年第4回ショパン国際ピアノコンクール in ASIA コンチェルトC部門（年齢制限なし）金賞及びコンチェルト賞。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て2006年同大学卒業。第132回日本演奏連盟推薦新人演奏会オーディション合格。2008年パリ・エコールノルマル音楽院に留学。2009-2012年ズィグムント・ザレスキ財団奨学生。2012年同音楽院コンサーティスト高等ディプロムを審査員全員一致にて取得。2015年同音楽院専攻科修了。2014年第12回東京音楽コンクール第3位。ソリストとして佐世保市民管弦楽団、ラトヴィア国立交響楽団、九州交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、アルカス“キラッ都”オーケストラなど、内外のオーケストラとの共演やリサイタル出演を重ねる他、伴奏、室内楽の分野にも積極的に参加し、多くの共演者より信頼を得ている。歌曲伴奏の分野では、エリー・アメリック&イェルク・デムス、フランソワ・ル・ルー&アンヌ・ル・ボゼック等、世界的なエキスパートのマスタークラスを受講し研鑽を積む。現在 東京藝術大学音楽学部非常勤講師。一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会（ピティナ）演奏会員、審査員。第1回ベートーヴェン国際ピアノコンクール アジア 審査員。日本とフランスにて演奏活動と後進の指導を行っている。公式ウェブサイト <http://norihiromotoyama.com>

Fujii & Motoyama, duo デュオとしての活動

藤井玲南と本山乃弘は、2004年以来定期的に共演を重ね、デュオとしてはこれまで、白井光子、森明彦、出口正子、ワルター・ムーア、ポール・ブラシェー、ニコラ・バクリ、スーザン・マノフ、イサベル・ガルシサンス、フランソワ・ル・ルーの各氏に師事。2013年第9回リヨン国際室内楽コンクール声楽・ピアノデュオ部門（リート&メロディ）では、日本人デュオとして唯一のセミ・ファイナリストに選ばれる。同年ニコラ・バクリ作曲3つのロマンチックな愛の歌 作品126のアジア初演を日本にて行う。2015年パリにてデュオ・リサイタルを開催。

アルカス SASEBO アクセスマップ



- JR・MR 佐世保駅から徒歩5分
- 西九州自動車道佐世保みなとインターから車で5分
- 長崎空港からバスで約80分

Chikako Yamana, composition

山中 千佳子, 作曲



©Kazuto Shimizu

三重県生まれ、岡山県出身。3歳からピアノ、12歳から作曲を始める。東京藝術大学音楽学部作曲科を首席卒業。同大学大学院音楽研究科作曲専攻修士課程修了。藝大3年次に第74回日本音楽コンクール作曲部門入選（2005）。武満徹作曲賞第3位受賞（審査員：トリスタン・ミュライユ/2010）。ルトスワフスキ生誕100周年記念国際作曲コンクール

にて、唯一のアジア人として佳作受賞（2013）。また同年、ジュネーヴ国際音楽コンクール作曲部門にて、日本人初となる二つの特別賞《Prix du public》と《Prix "Jeune public"》をダブル受賞（2013）。主要作品は、独奏曲からオーケストラ作品と幅広く、2015年には全音楽譜出版社などから合唱曲によって出版デビューを果たす。自ら作詞も行い、言葉と音によって普遍的なメッセージや世界を表していくこれらの合唱作品にも、注目が集まっている。2016年には、同声合唱とオーケストラのための「はじまりの朝に」が、世界的指揮者の山田和樹氏の指揮で、300名のジュニア合唱団とオーケストラによって故郷の岡山で初演され大好評を博した。2017年、ヴァイオリンとピアノのための「Kotonoha」が、実力派大型新人と評されるヴァイオリニスト鈴木舞氏のデビューCDに収録される。

公式ウェブサイト <http://chicaco.s2.weblife.me/index.html>